

# ことねぎだより

2018年10月号 NO.137 WEB:kotokyoto.co.jp TEL:075-601-0668

秋の台風21号、通過中は外に出ているだけでも危険な状態で、通過後の畑や街の変わり果てた光景、地域の農家さんの倒壊したハウスを見るのはとても心が痛み、倒壊具合からわかる勢力の強さには驚きました。

7月豪雨、8月雨不足、9月台風と長雨…今年の気象はねぎの生産に大きな影響を及ぼしていますが、弱ったねぎへの栄養補給や病気予防など、いつも以上に手間をかけ、現在は冬ねぎ出荷へむけて生育管理を行っています。農業は、時に過酷な状況もありますが、そんな中でも畑で育つねぎたちの姿には私たち農人は勇気付けられています。

今回大きな勢力を持った台風21号でしたが、当日はほとんどのスタッフは午前中には急遽業務を終え、台風の通過に備えました。工場は一部停電などの事態もありましたが、会社に関わっているスタッフやその家族も大きな被害に遭っておらず何よりでした。



畑にいる農人たちの声を伝えます。

この時期は、雨が降るたびに気温が下がっていくような空気を感じます。朝晩が涼しく、時に冷やッと寒いと感じるように。

## 台風後の収穫について



残念な気持ちと闘いながらの作業。今の状況に向き合い、少しでも多くの製品として出荷できるようにとの想いで頑張ります。

台風通過後の収穫は、畑に倒れてしまったねぎを起こしたり、病気の広がりを防ぐ為にまだ短い状態のねぎを収穫しなければならない時もあります。そういったねぎの収穫は、農人たちにとっても通常の倍以上の時間と手間がかかっており、疲れと同時に、まだ短いうちに収穫しなければならない



今月の「ことねぎ」のお届けが始まります。夏場のメイン産地であった美山・亀岡から、徐々に京都市内で育った畑の葱をお届けしていきま



● 今月、みなさまにお届けする  
● 九条ねぎが京都でどのように  
● 育ったものなのか、物語(事)  
● を少しでも知っていただき、  
● より美味しく召し上がって  
● いただければと思います。

こと美山のコメ事業のこと

## あと少しで稲刈り終わります



昨年は、この時期には稲刈りが終了していましたが、今年は台風の影響などで少し遅れており終了まであと一踏ん張りという状況です。今年3月に完成したライスセンターも本格的に稼働し、活用しています！今年の新米も通販で販売開始していきまのでチェックしてくださいね\*



## 四季の移ろいを感じる秋ねぎ



こと京都では春夏秋冬の季節ごとでお届けするねぎには四季があるとお伝えしています。秋は、気づけば訪れていてその期間も短く感じますよね。「秋葱」も同じように、日増しで続く朝晩の冷え込みにより旬の美味しさに近づいていきます。内側のぬめりの「あん」がたっぷり出てくるようになるのも、意外ともうすぐかもしれません。